

序論)

コリント教会には「死者の復活はない」という人たちがいました。パウロは、復活に対する疑問を抱く人たちを想定して、二つの問いに答えます。

「死者はどのようにしてよみがえるのか。どのようなからだで来るのか」(15:35)

1. どのようによみがえるのか？

① 死を通して

- ・ 種が土に蒔かれ、死んだようにならないければ新しい命として芽を出せないように、私達も死を経験して新しい命を得る
- ・ 死は、復活の命を得るための通過点

② 神様の主権とみわざによって

- ・ 復活は人の力ではなく、神様の主権と御業によってなされる
- ・ 神様はそれぞれの被造物にふさわしい肉体を与えられた(人間、動物、魚、鳥、太陽、月、星)
- ・ 神様は私達に天上(神の国)でふさわしく生きていけるからだを与えてくださる

2. どのようなからだで復活するのか？

① 地上のからだと復活のからだの対比 (15:42-44)

- ・ 朽ちるもの → 朽ちないもの：病気、老化、死から完全に解放された永遠の体
- ・ 卑しいもの → 栄光あるもの：罪の性質からキリストの輝きを反映する体へ
- ・ 弱いもの → 力あるもの：疲労や限界を持つ体から神様の力に満ちた体へ
- ・ 血肉のからだ → 御霊に属するからだ：自然の欲求に支配される体から聖霊に完全に導かれる体へ

② 御霊に属する体

- ・ 復活の体は、聖霊様ご自身をいのちとする体
- ・ 決して罪を犯すことなく、神様の栄光を輝かせることができる最高の体

③ 最初のアダムと最後のアダム (15:45-49)

- ・ 最初のアダム：生きるものとなった（地上の命）
- ・ 最後のアダム（キリスト）：いのちを与える御霊となった
- ・ キリストを信じる私たちは、御霊に属し、キリストに似た者とされている
- ・ 復活によって完全にキリストのかたちを持つ者となる（15:49）

④ 復活のからだは必須

- ・ 「血肉のからだは神の国を相続できません」（15:50）

結論）

1. 復活とは：死を通過点として、神様の主権と力によって神の国に相応しいいのちと体を与えられる大きな変化
2. 新しいからだ：「御霊に属するからだ」であり、罪や死の支配を受けず、キリストの栄光を映し出す、神の国にふさわしい力強いからだ

適用

- ・ 地上における弱さや足りなさを見て落ち込まないようにしましょう
- ・ 主は栄光のからだを用意してくださっています
- ・ 既に天に属する者として、キリストに似るように日々変えられています（Ⅱ コリント 3:18）
- ・ 聖霊様の導きに従う歩みをする時、復活のからだの喜びを前もって体験できます
- ・ 復活のからだは神の国を相続するためのもの。地上において神の国の喜びを味わう者となりましょう